

## 自殺の現状と関連する状況について

## ★自殺統計について

- ・自殺統計とは、警視庁による自殺に係る統計のことです。都道府県警察では、検死・死体調査により遺体の死因を自殺と判断したケースについて、案件毎に自殺統計原票を作成しており、データ化したものを警察庁において取りまとめています。
- ・厚生労働省では、警察庁が取りまとめたデータの提供を受けて資料の作成を行い、地域における自殺の基礎資料として掲載しています。

## ★自殺統計で用いられる値の解説（暫定値、確定値の違い）

## 【暫定値】

- ・ある月の翌月上旬頃に報告された自殺者数として、中旬頃に公表される値です。集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数。
- ・「地域における基礎資料」として、厚生労働省において、自殺の実態把握として地方公共団体職員等が利用することを目的に、警察庁から提供された自殺統計原票に基づくデータの加工統計を作成しており、職業別、原因・動機別などの項目で集計をしています。

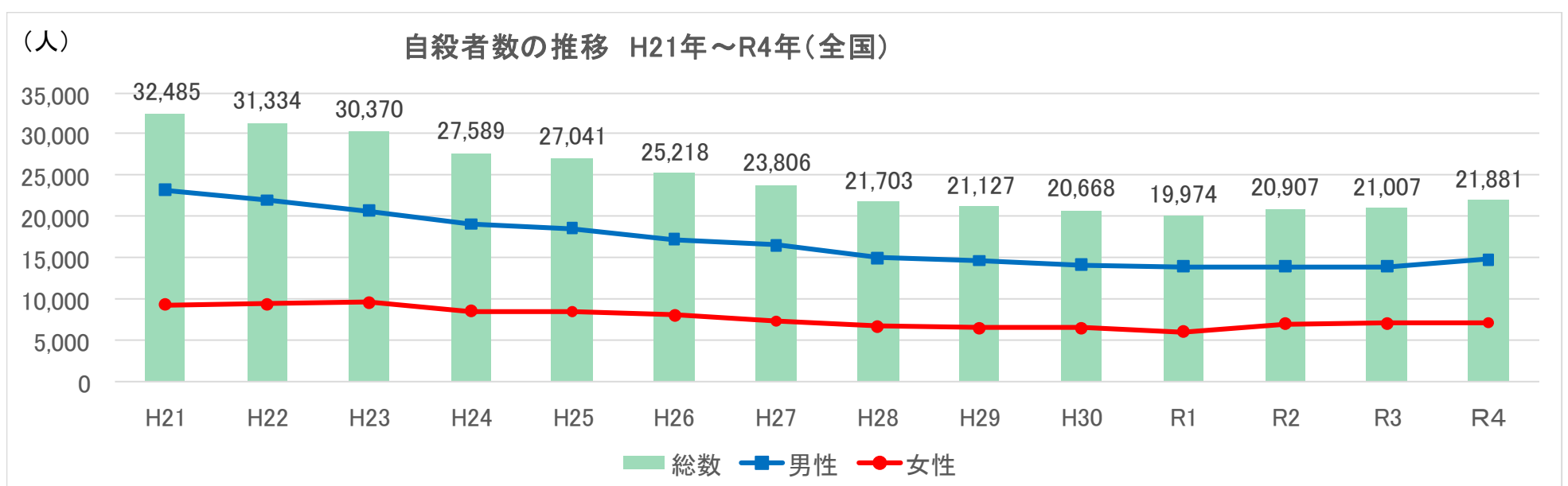
## 【確定値】

- ・ある年の確定した自殺者数として、翌年3月中旬頃に公表される値です。暫定値と同様に、集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数。これ以外に、職業別や原因・動機別自殺者数などを集計しています。

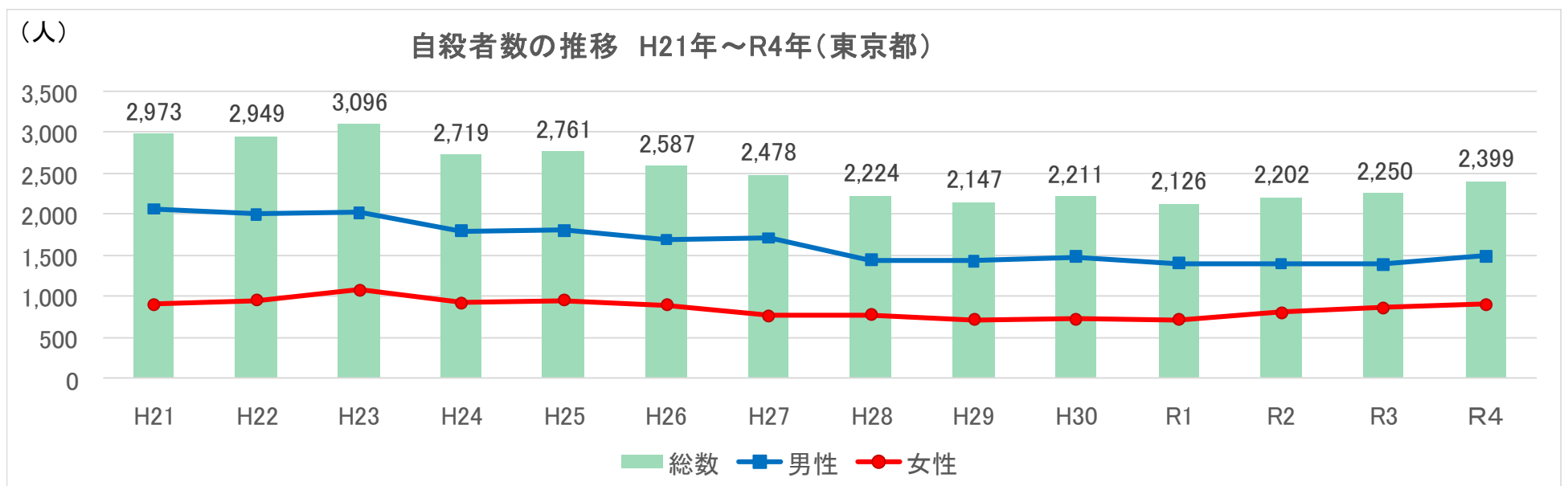
※令和5年3月まで、毎月上旬頃に速報値が公表されていましたが、令和5年4月から公表されなくなりました。

## ◆ 自殺者数（出典 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

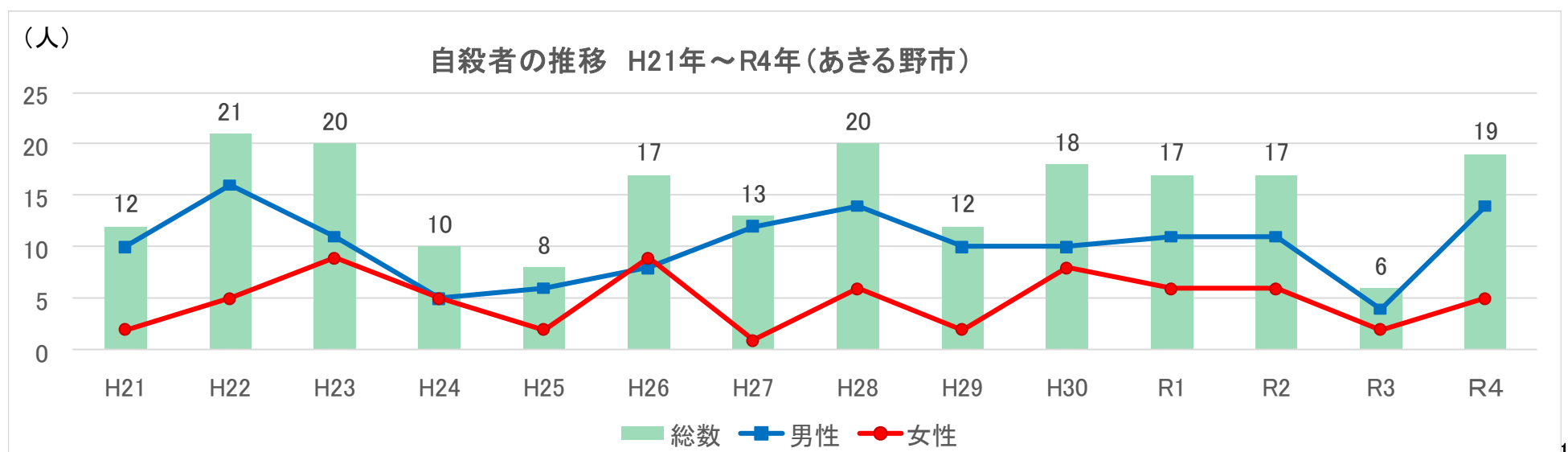
- ・全国の年間自殺者数は、令和4年は21,881人で、令和3年より874人増加しました。



- ・東京都の年間自殺者数は、令和4年2,399人で、令和3年より149人増加しました。

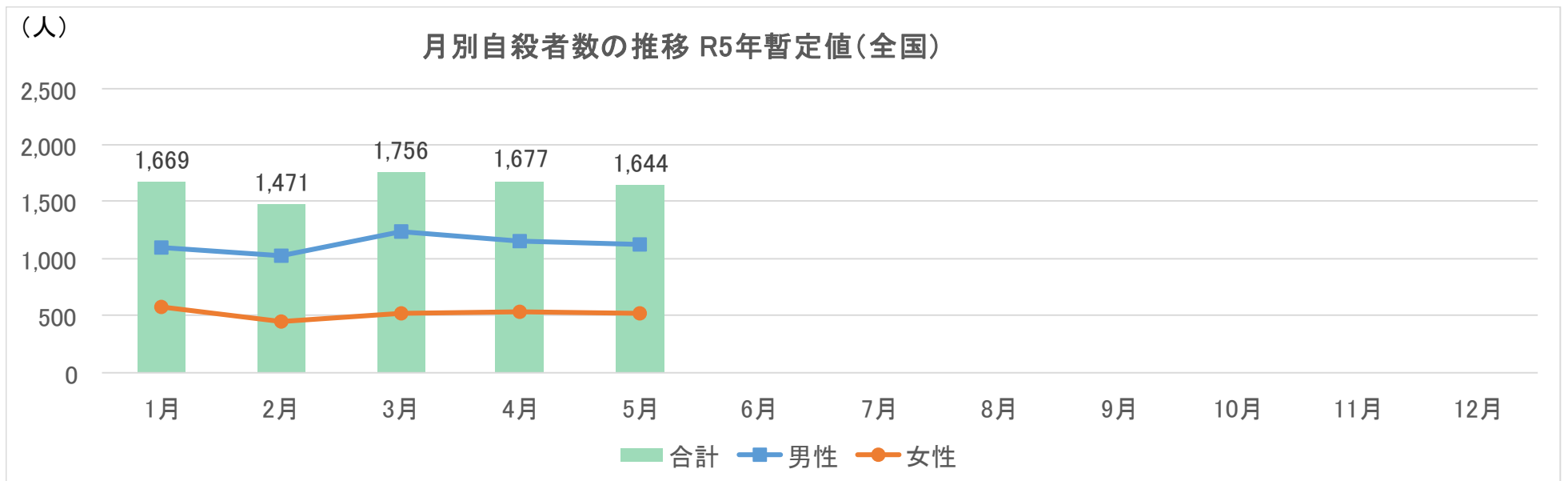
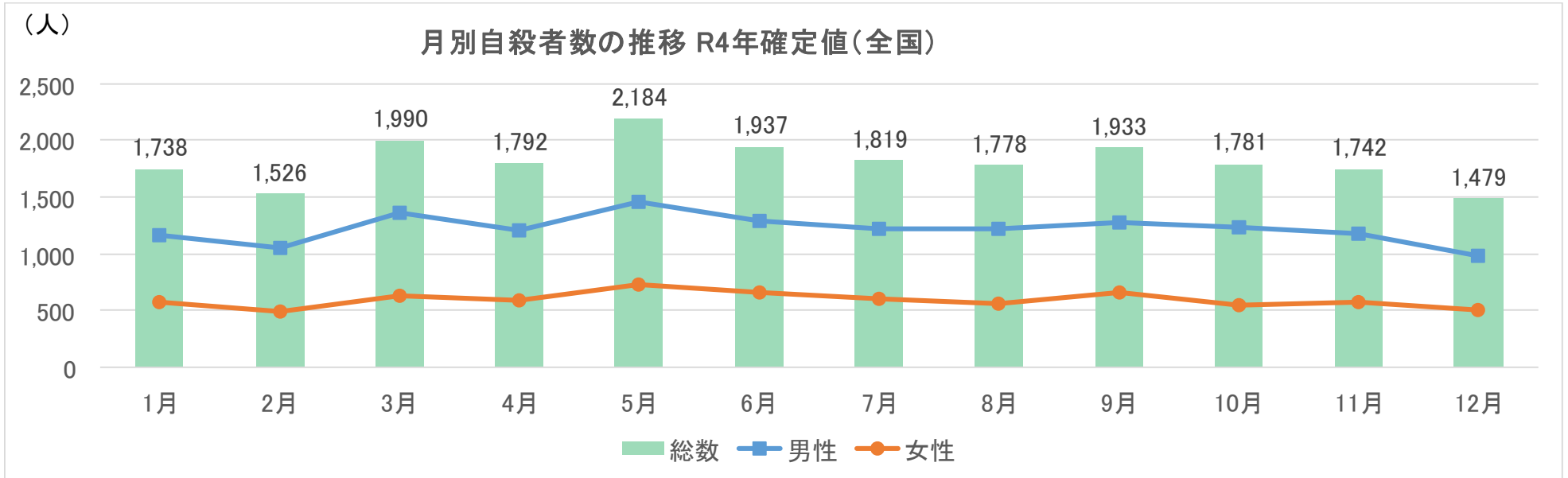


- ・あきる野市の年間自殺者数は、令和4年は19人で、令和3年より13人増加しました。

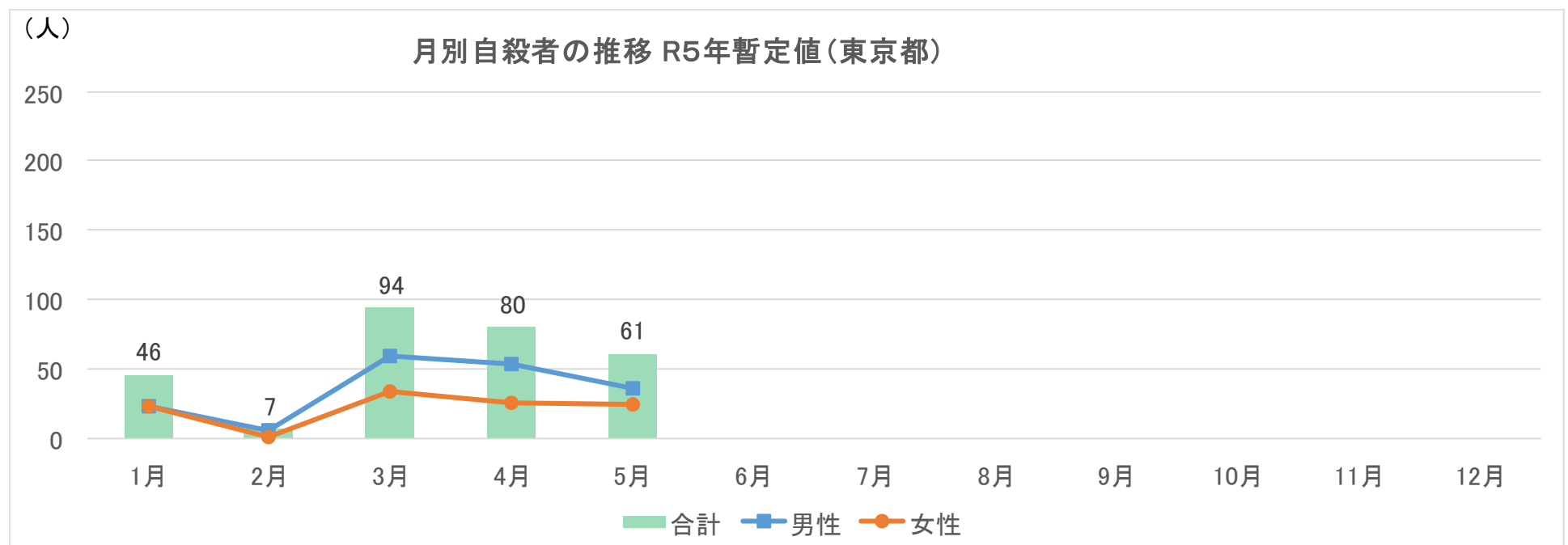
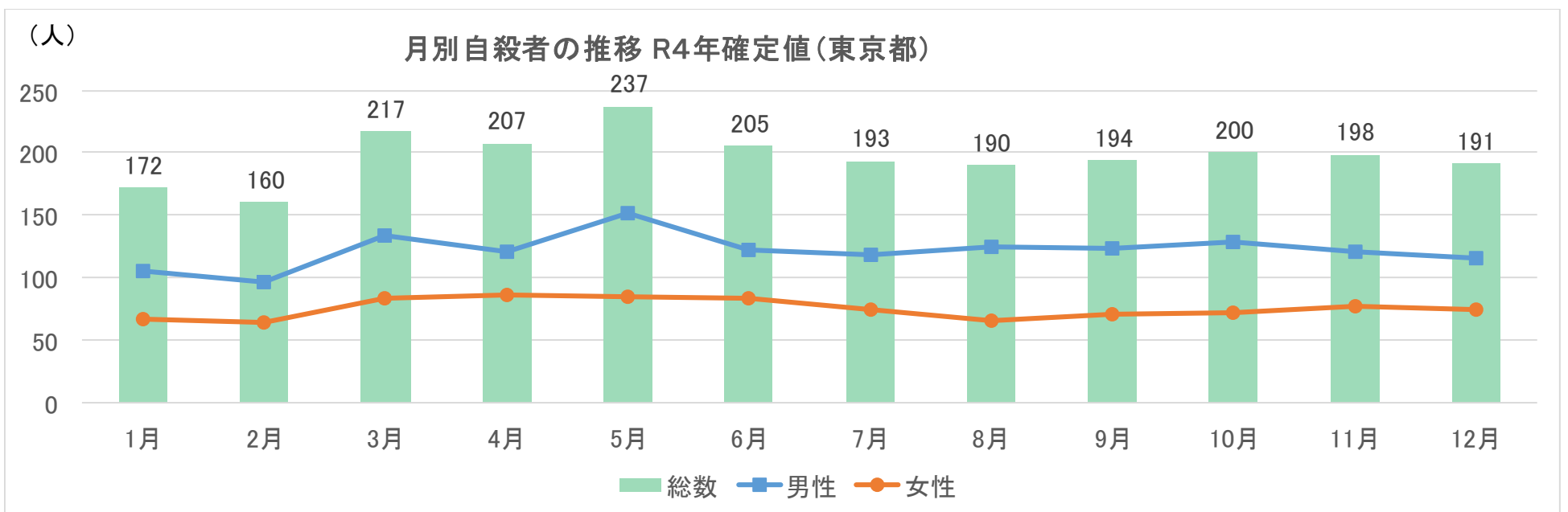


◆ 月別自殺者数 (出典 地域における自殺の基礎資料 ※令和4年確定値 ※令和5年暫定値)

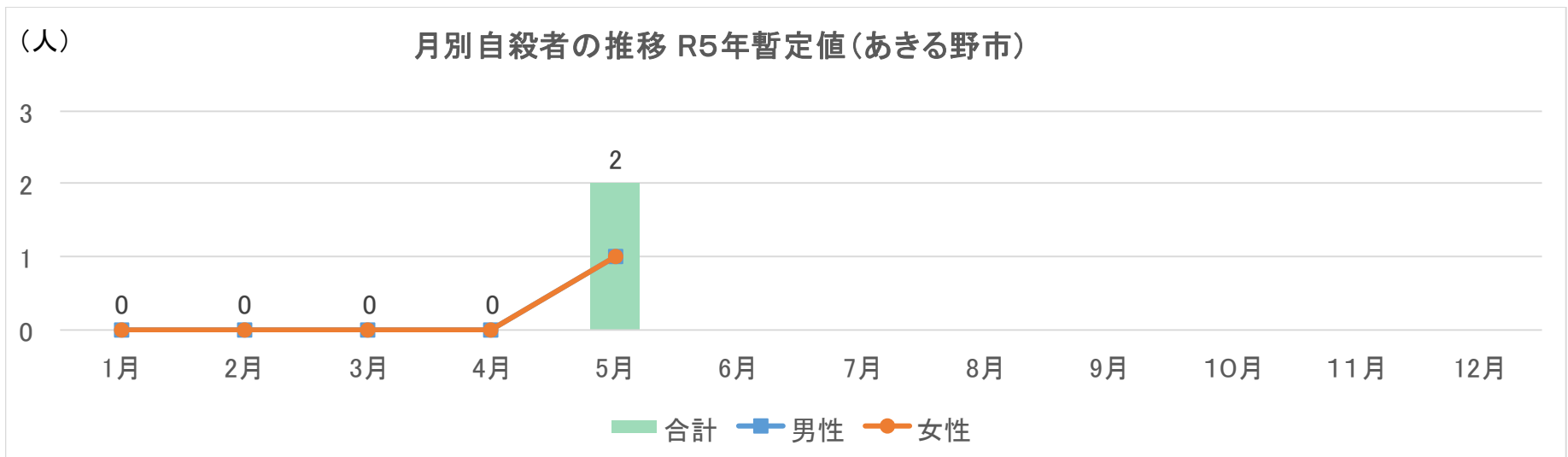
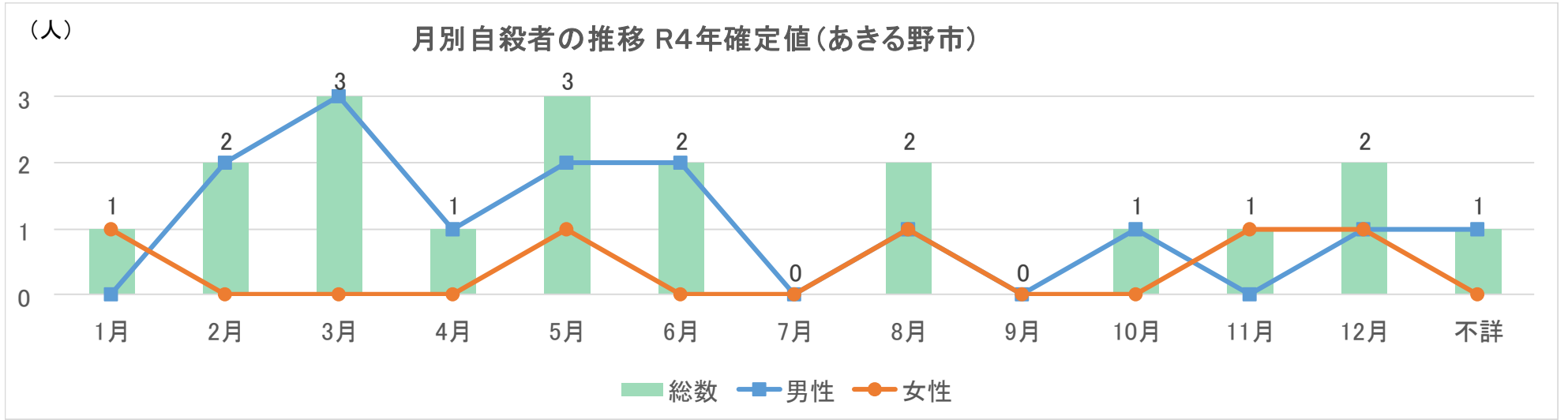
・令和4年の全国の月別自殺者数で最も多かったのは5月でした。



・令和4年の東京都の月別自殺者数で最も多かったのは5月でした。

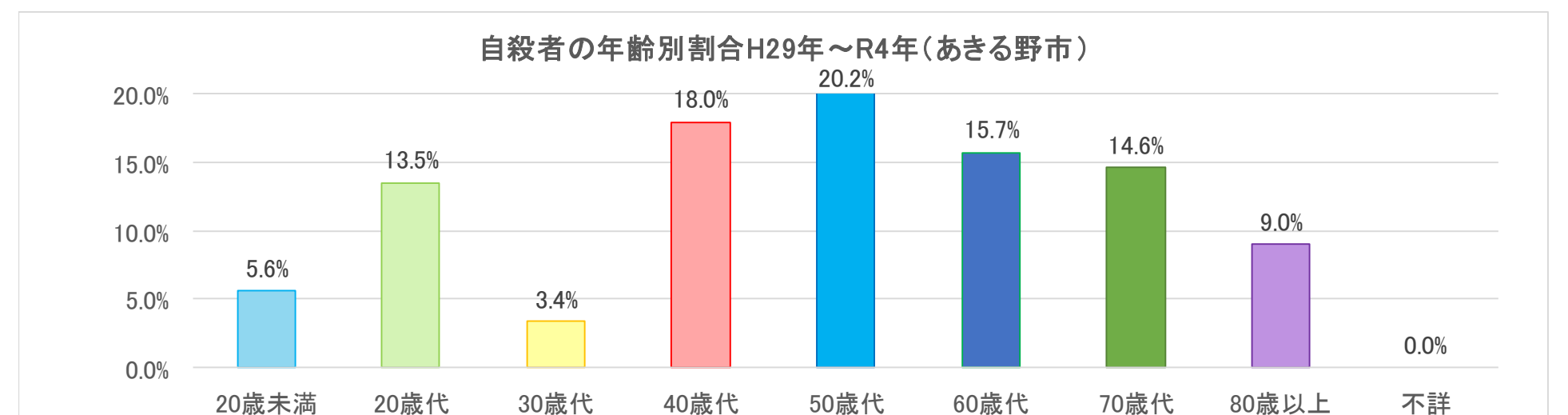
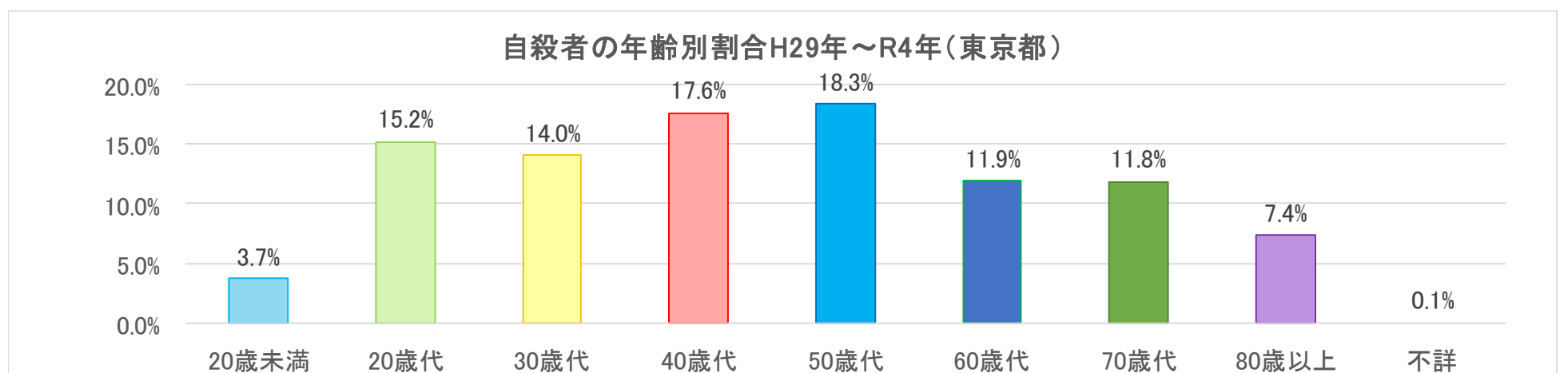
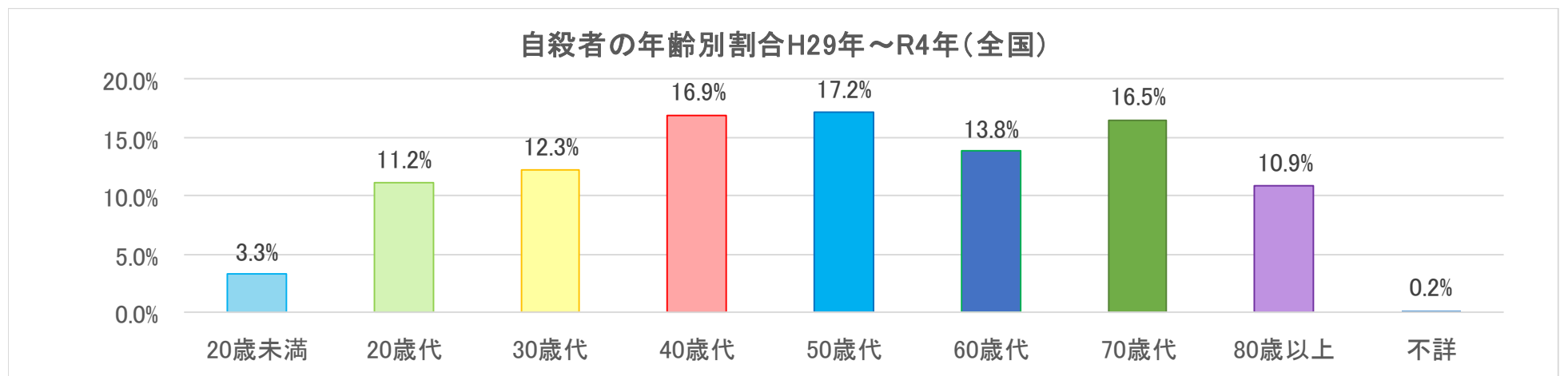


・令和4年のあきる野市の月別自殺者数で最も多かったのは3月、5月でした。



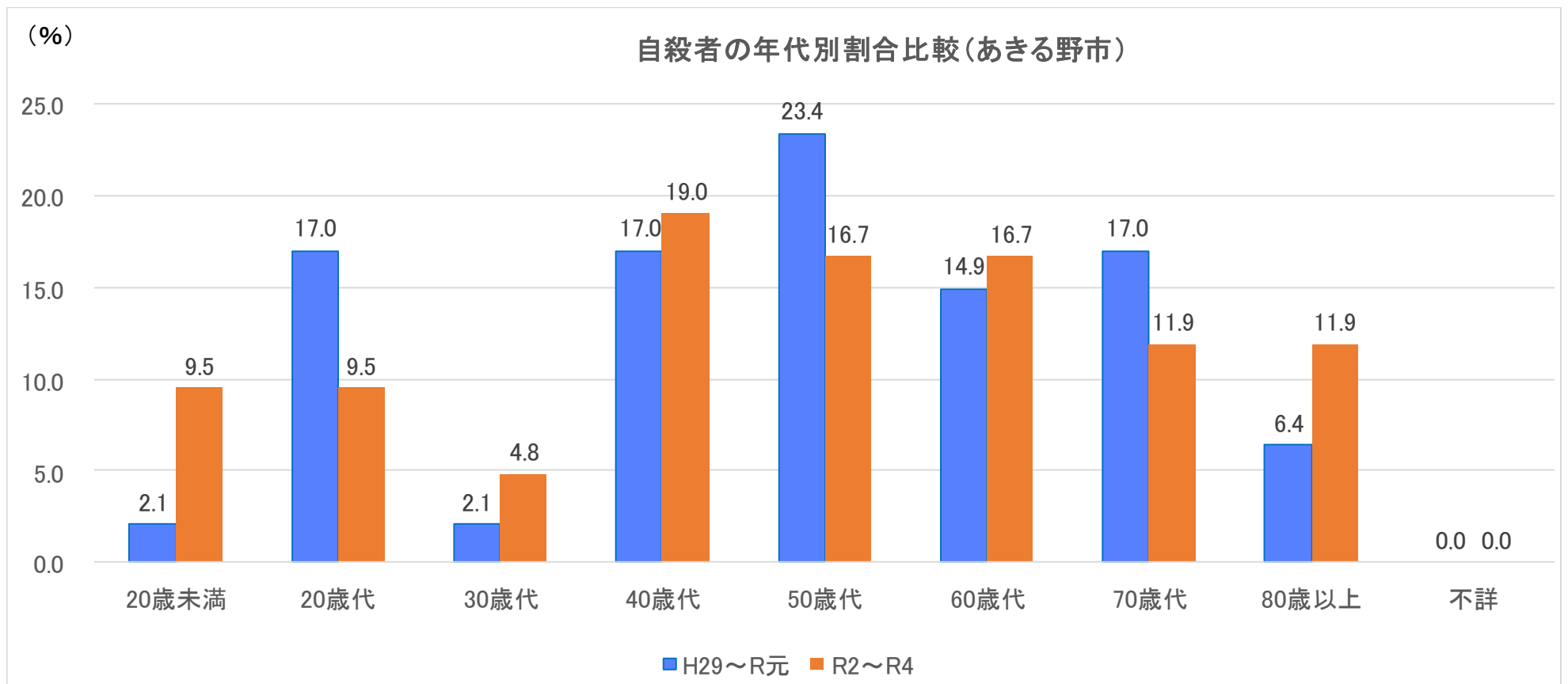
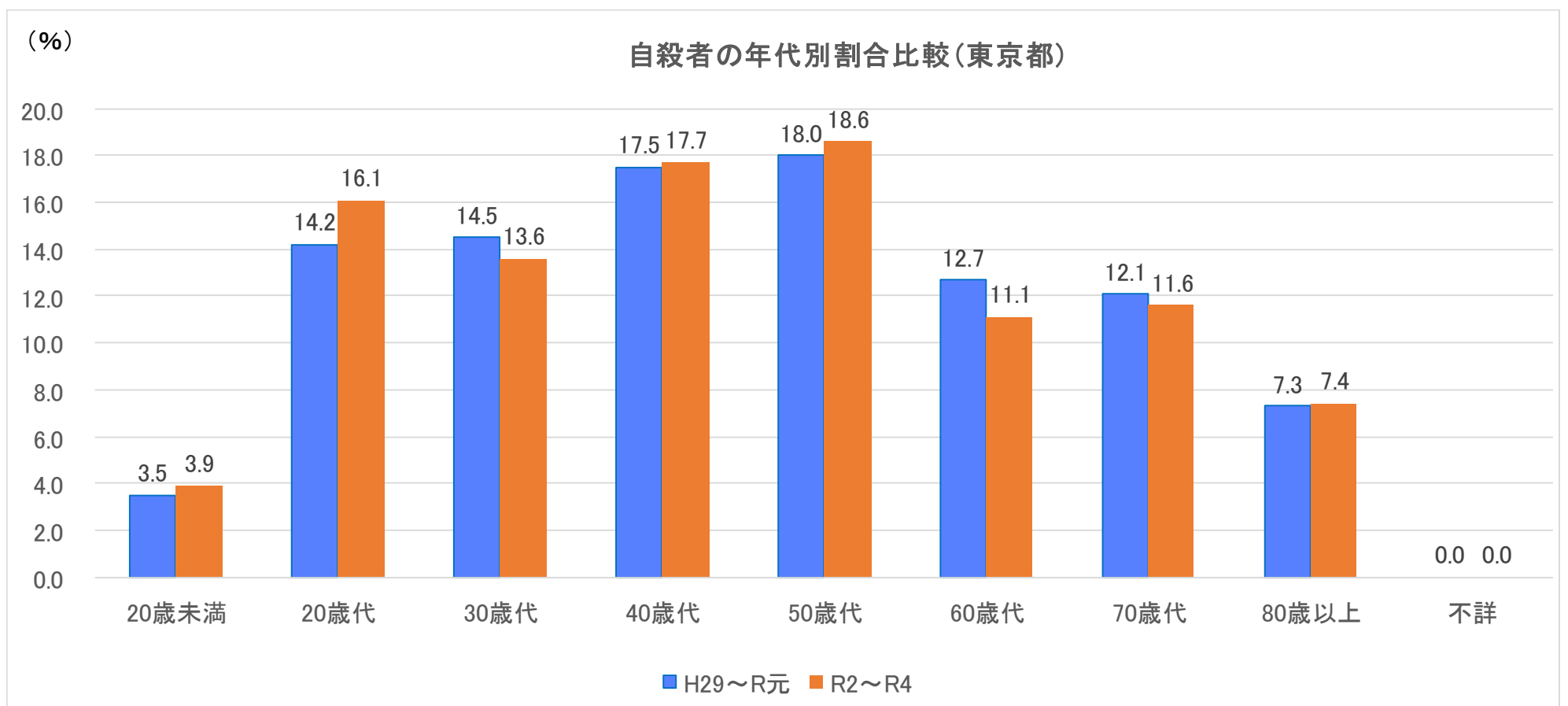
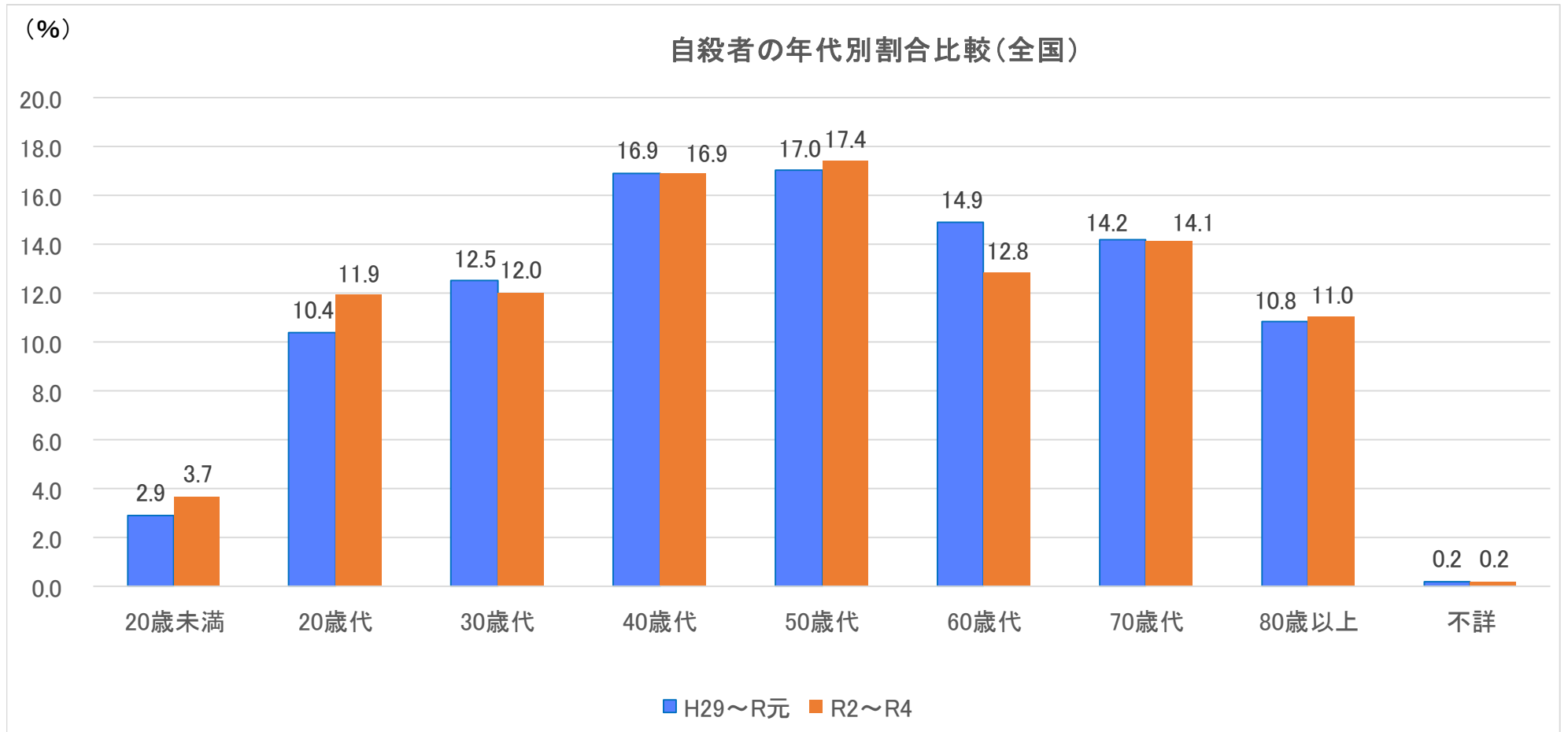
◆ 自殺者の年代別割合(平成29年から令和4年までの合計) (出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料)

・平成29年から令和4年の年代別割合では、全国、東京都、あきる野市で最も多いのは50歳代、次いで40歳代でした。



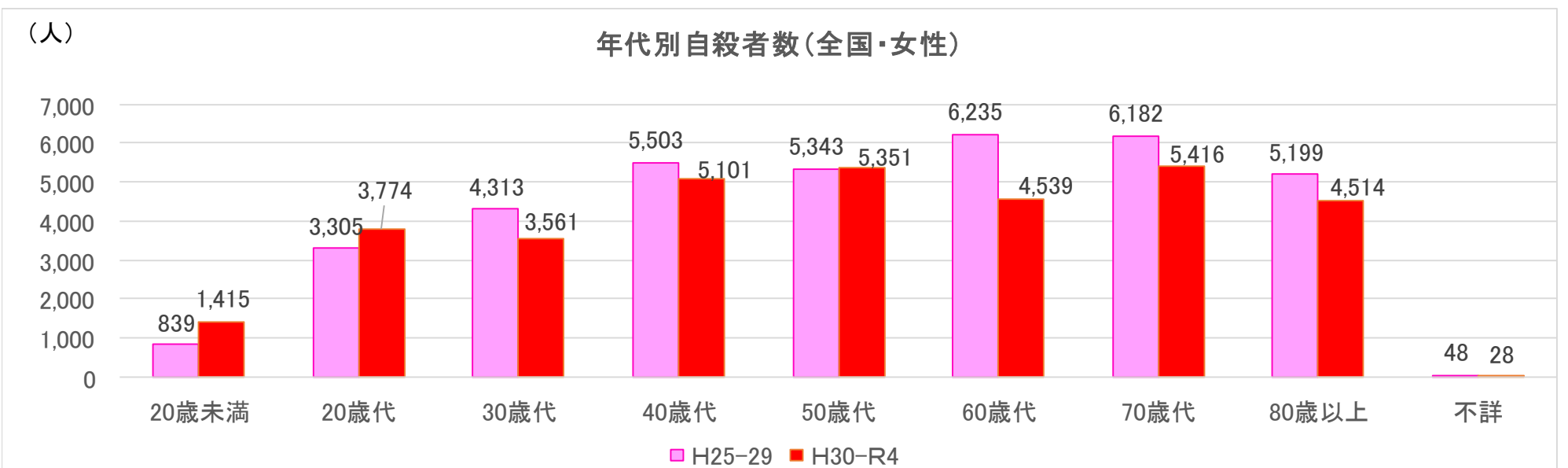
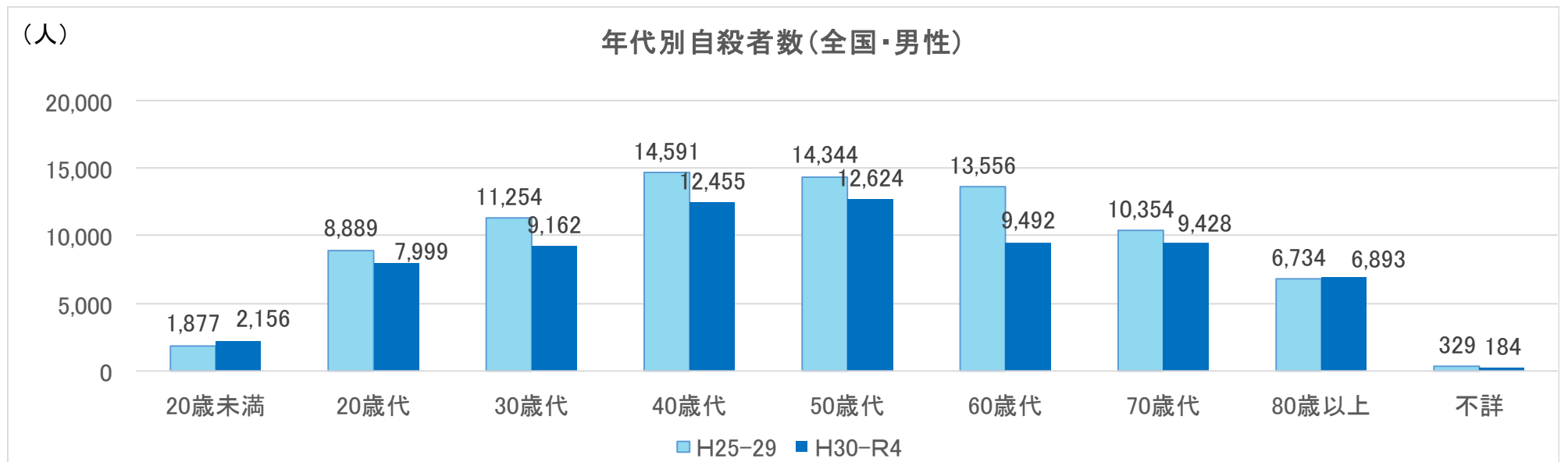
◆ 自殺者の年代別割合比較（平成 29 年～令和元年と令和 2 年～令和 4 年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

・平成 29 年～令和元年、令和 2 年～令和 4 年の年代別割合の比較は、全国・東京都・あきる野市で 20 歳未満の割合が増加しています。また、あきる野市では 50 歳代・70 歳代の割合が増加する一方で、30 歳代・40 歳代・80 歳以上の割合が増加しています。

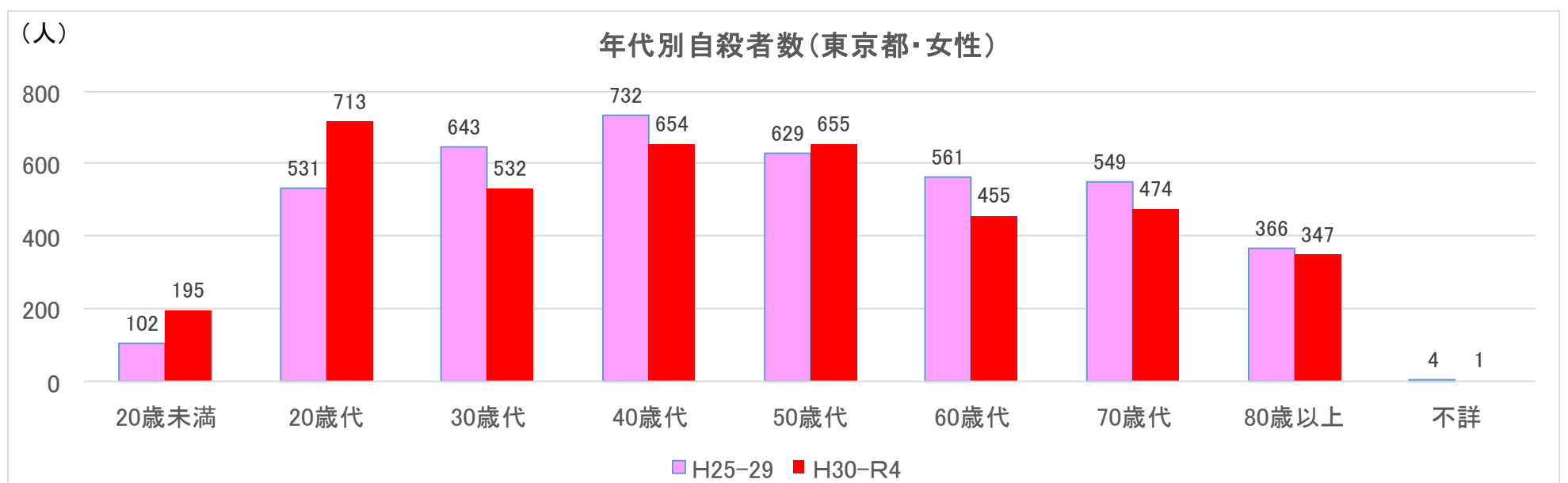
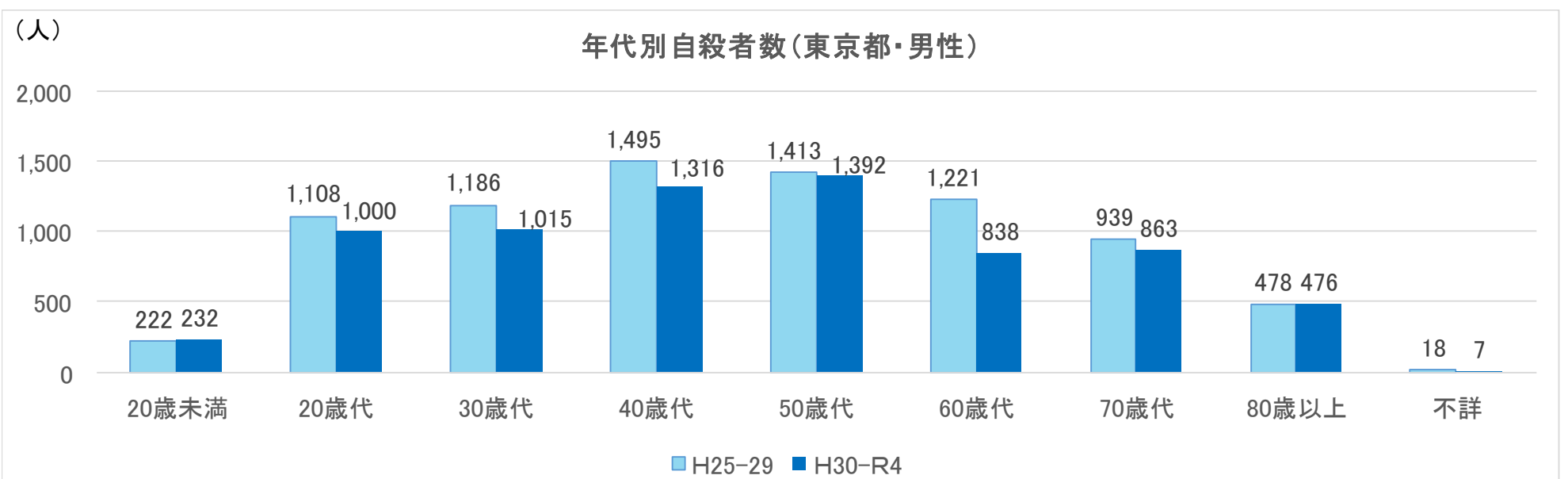


◆ 自殺者の年代別状況 (出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料)

・全国の年代別自殺者数の状況を平成25年～29年の5年間、平成30年～令和4年の5年間を比較しました。男性では20歳未満、80歳以上の割合がわずかに増加しています。女性は20歳未満、20歳代で増加がみられます。



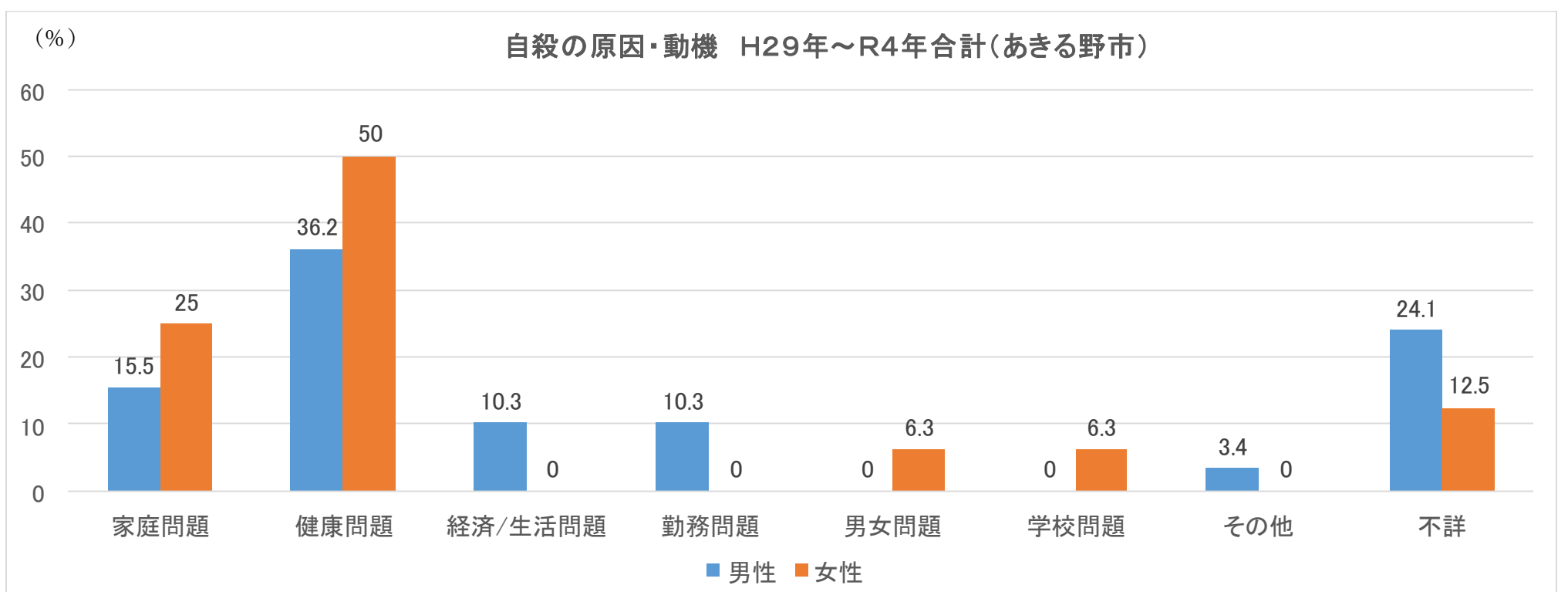
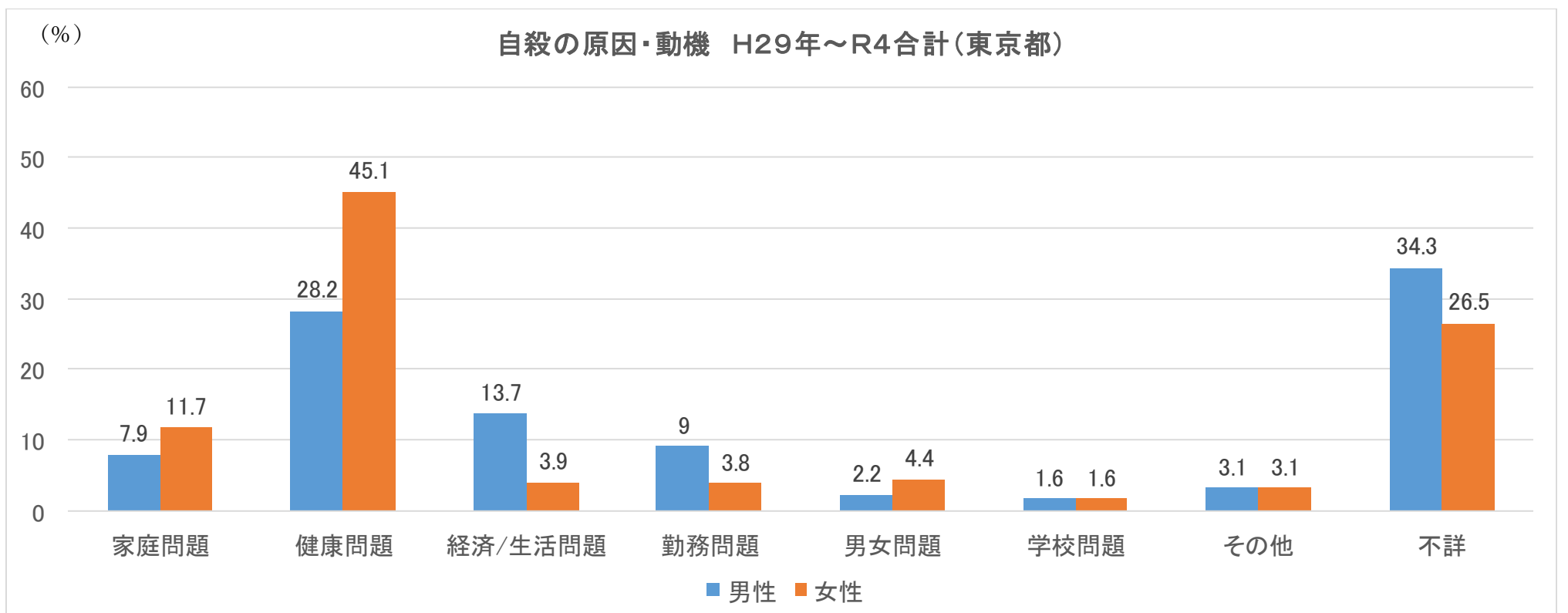
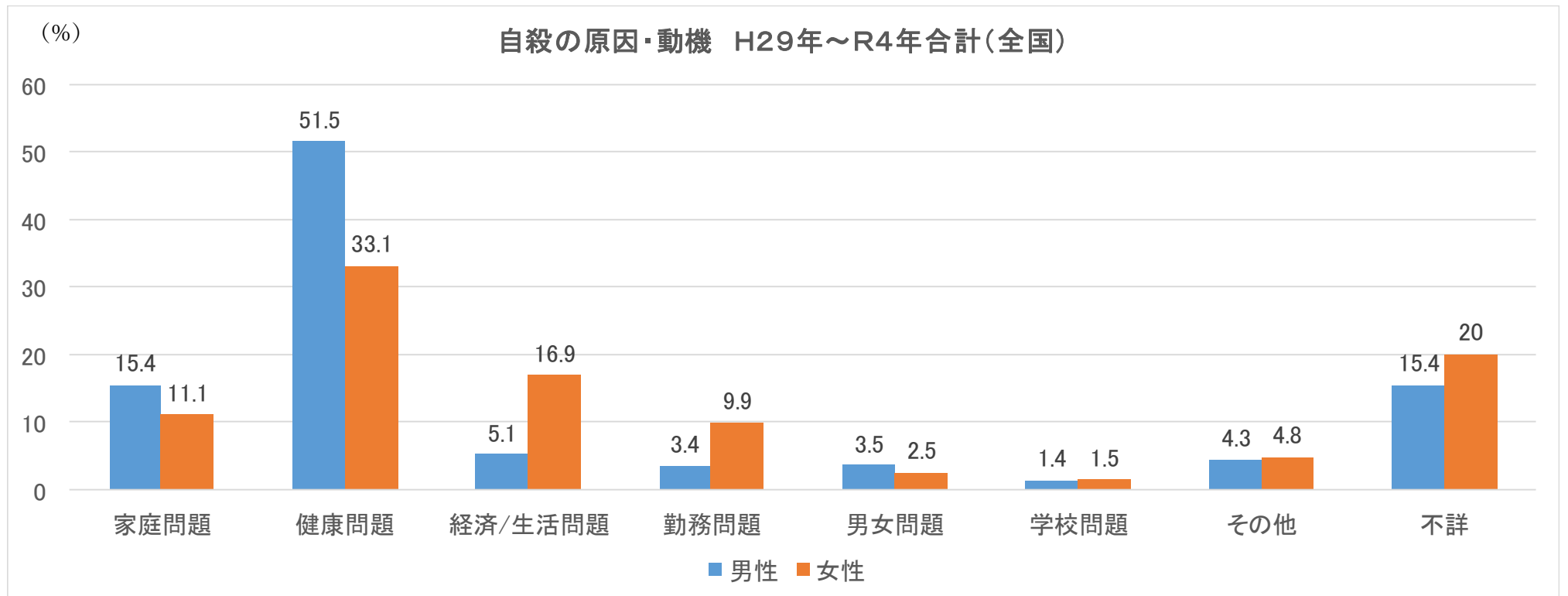
・東京都では、男性は全国と同じく20歳未満、80歳以上の割合がわずかに増加しています。女性も全国同様、20歳未満・20歳代での増加がみられ、加えて50歳代の割合も増加しています。



◆ 自殺の原因・動機（平成29年～令和4年までの合計）男女別割合の比較 （出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

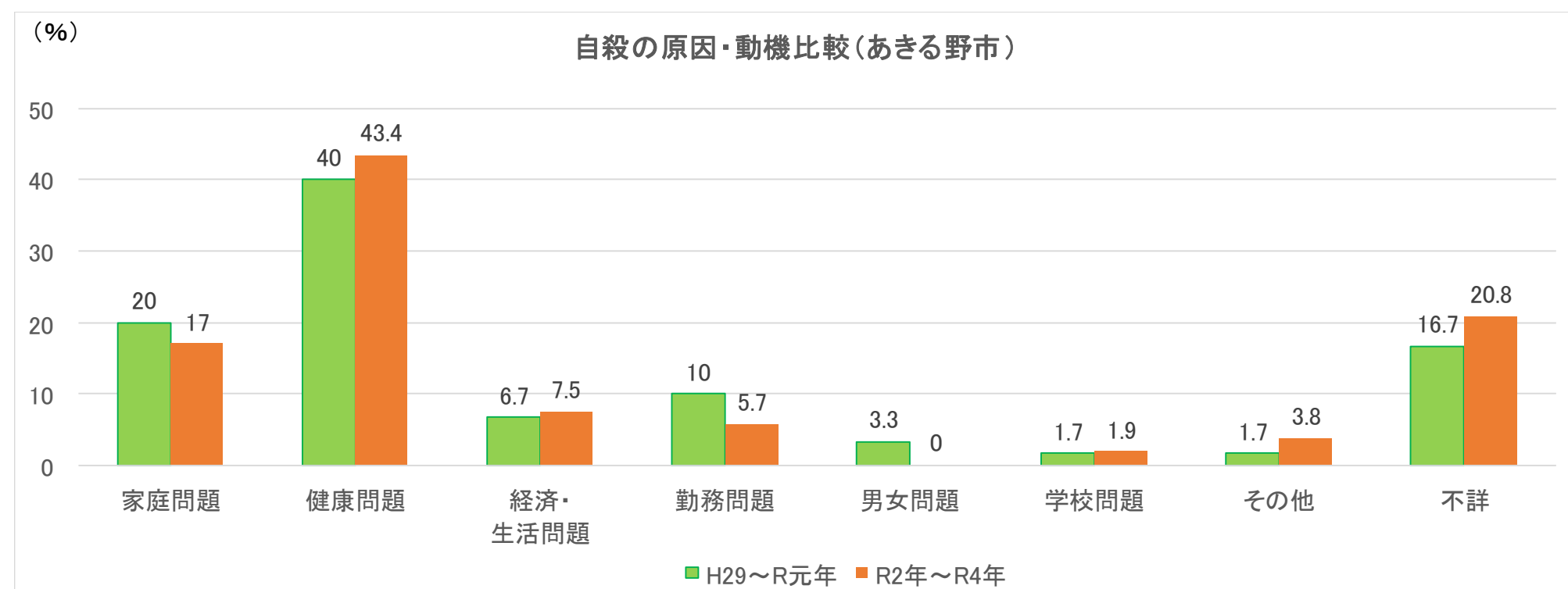
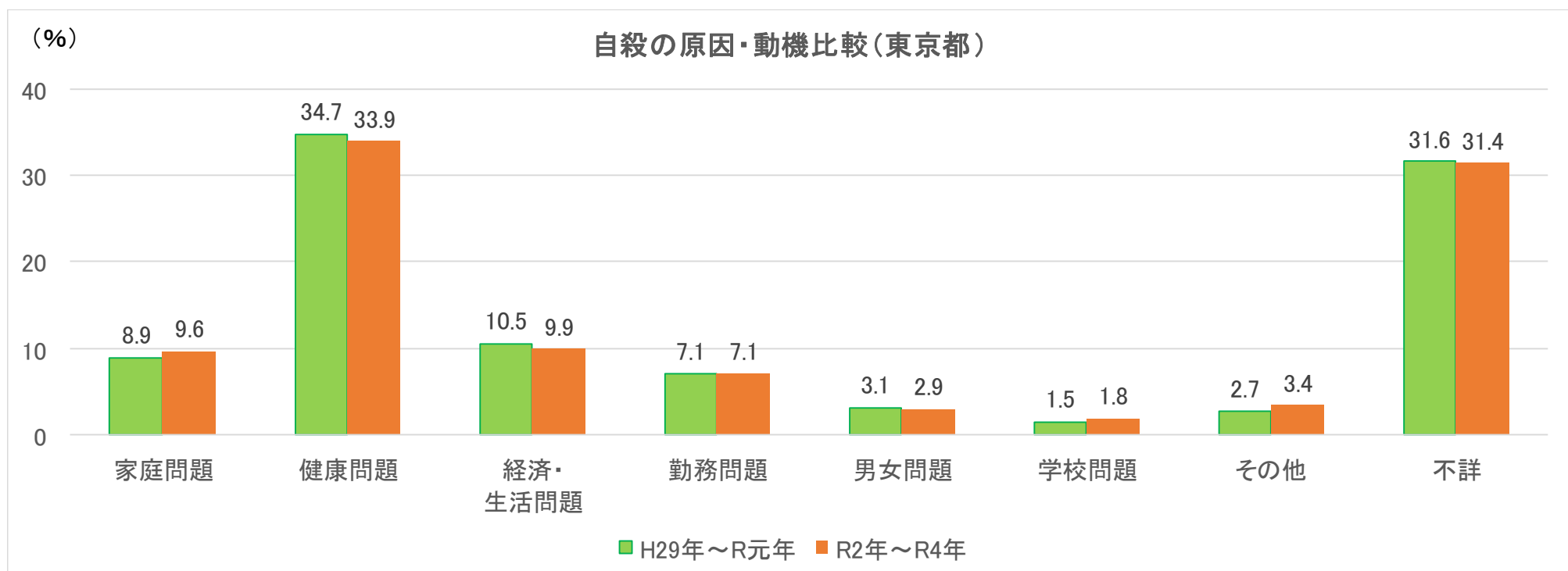
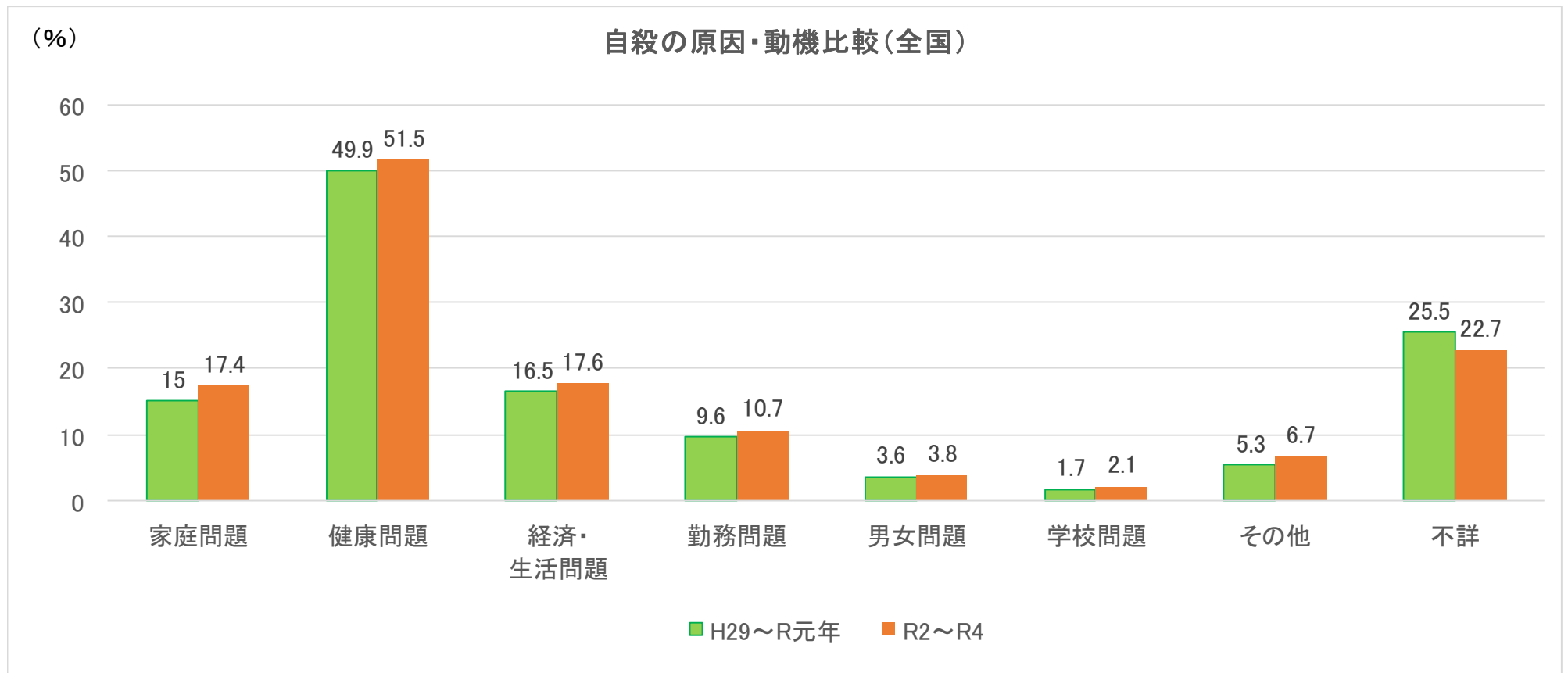
・自殺の原因・動機で最も多いのは、全国では男女ともに「健康問題」が多く、ついで男性は「家庭問題」「不詳」、女性は「経済・生活問題」となっています。

・東京都では女性は「健康問題」「不詳」、男性では「不詳」「健康問題」となっています。あきる野市では、女性は「健康問題」「家庭問題」、男性は「健康問題」「不詳」が多くなっています。



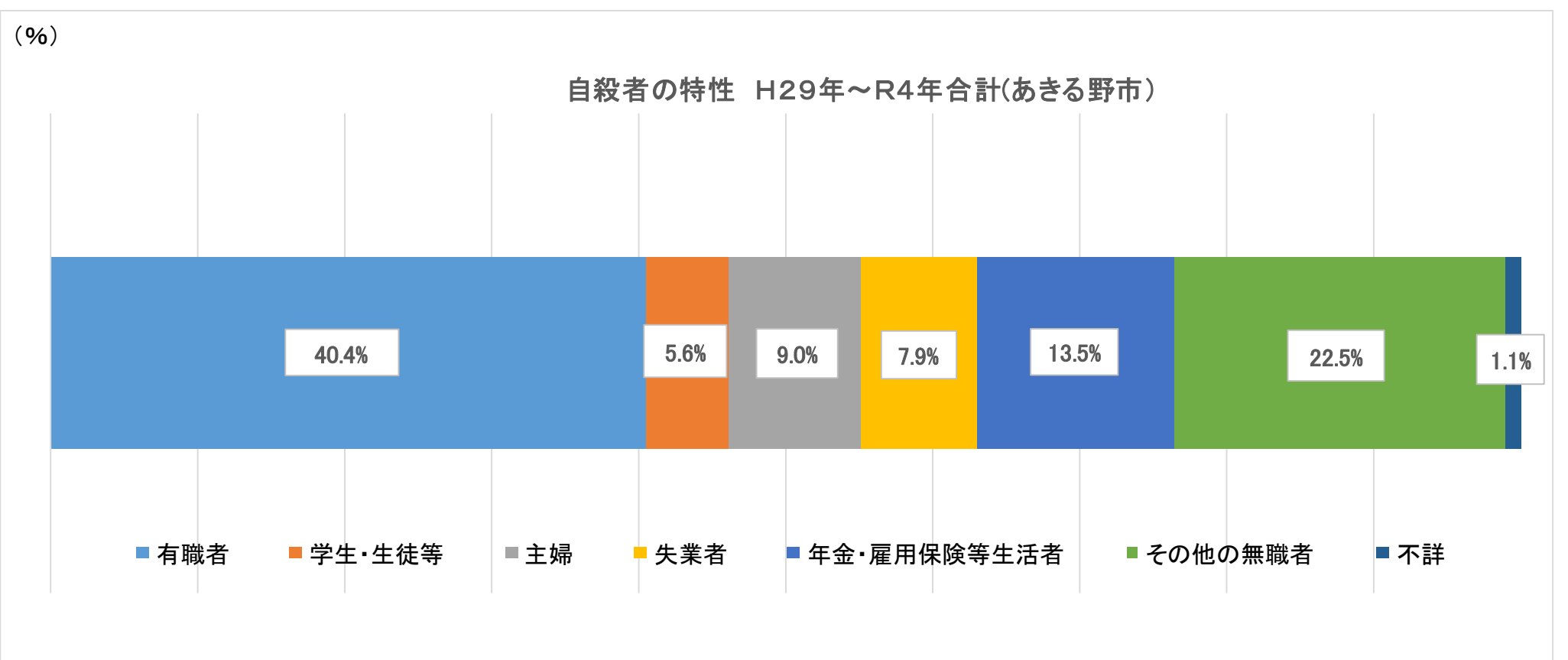
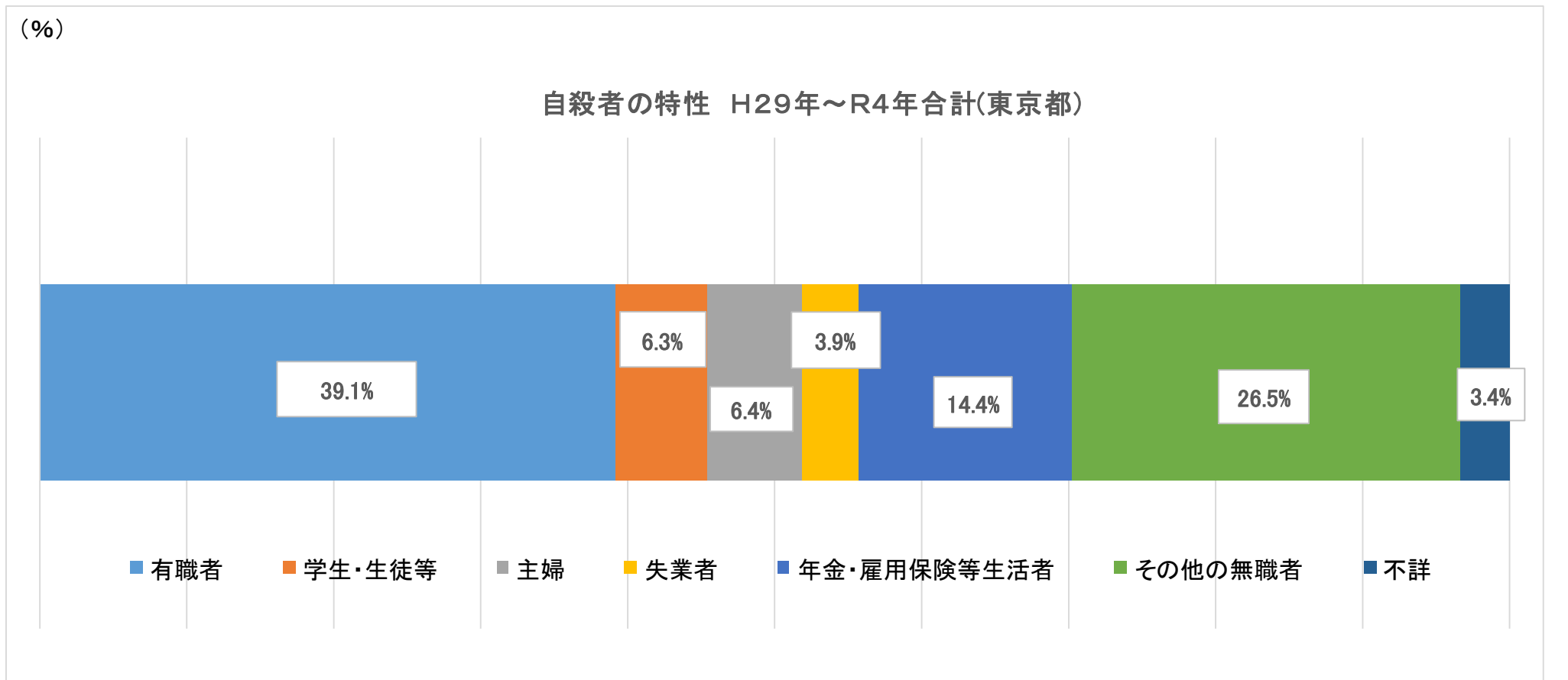
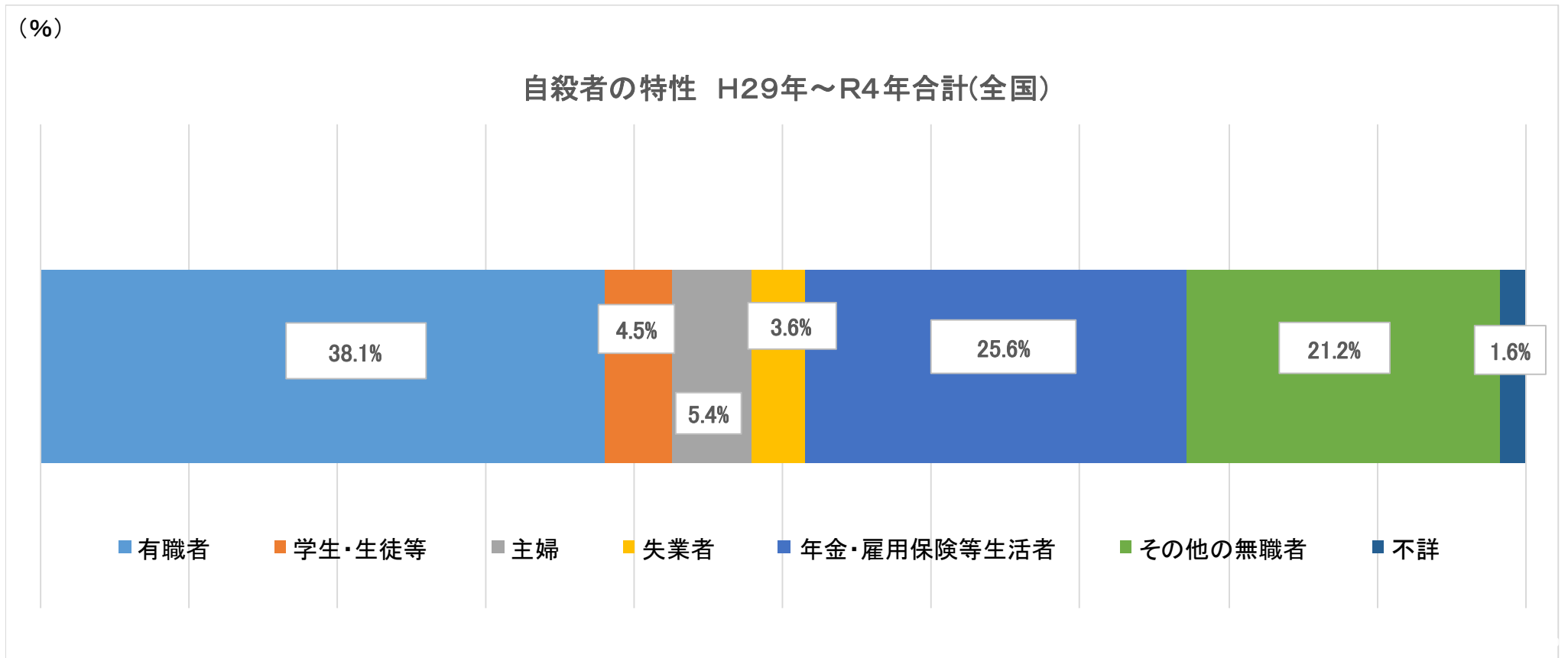
◆ 自殺の原因・動機（平成 29 年～令和元年、令和 2 年～令和 4 年の比較） （出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

・平成 29 年～令和元年、令和 2 年～令和 4 年の原因・動機の比較では、全国・あきる野市では「健康問題」「経済・生活問題」が増加しています。



◆ 自殺者の特性（平成29年～令和4年までの合計） （出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）

・全国、東京都と比較してあきる野市は「主婦」の割合が9.0%と多くなっています。





◆ 自殺者の特性（平成 29 年～令和元年、令和 2 年～令和 4 年の比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料 ※確定値）  
 ・平成 29 年～令和元年と令和 2 年～令和 4 年を比較すると、あきる野市では「主婦」の割合が減少していますが、「年金・雇用保険等生活者」が 8.5%から 19.0%と増加しています。

